

目指せ！地域の「ノア方舟」～地域の防災力向上に挑む～

精思高等学校地域防災協議会

活動の目的

目的は3つあった。1つ目は精思高校の生徒が地域の防災について考えることで、地域の防災力を高めることだ。2018年の西日本豪雨災害で倉敷でも甚大な被害が出た。精思高校は避難所に指定されておらず、近くに水害時に有効な避難所もないため、地域の防災活動および地域住民の防災意識向上にも寄与したいと考えた。2つ目は生徒の防災意識を高め、自分の命、家族の命、周囲の人たちの命を守るために主体的に行動する力を身に着けることだ。実際、1年生約25名のうち、災害時に避難している生徒は1名で、防災意識が低いことが分かった。最後に、生徒の社会性、コミュニケーション能力を高めるという目的を挙げる。精思高校の大多数の生徒はコミュニケーションに苦手意識を抱えており、人間関係を作ることが難しい。防災を通して地域社会と関わろうとすることで、少しずつ外に目を向けていけたらいいと考えた。

活動の内容及び経過

1年生の学校設定科目「社会科学入門」の中で、防災に関する授業を行った。「目黒巻」という防災シュミレーションできるツールを使い防災意識を高めたり、倉敷の防災センターを訪れ、地震を経験したり、防災センターの業務について学んだ。また夏には地域合同避難訓練と防災講演会を行った。高校から一番近い避難所（倉敷運動公園）まで歩いて避難したが、地域の方からも参加者を募って行うことができた。講演会では西日本豪雨の際に避難所で活動しておられたグリーンコープの方に来ていただき、避難所での生活についてお話を聞くことができた。2学期には、1年生がフィールドワークに出て、地域の防災について調べた。その結果、精思高校を避難所にしよう、という結論を、本校主催の被災地支援のためのチャリティーバザーである「わかばフェア」で地域の方に向けて発表することにした。そこでは、地域の避難所が水害時のそれとしては適していないという点、さらに精思高校を避難所に、という結論に対しても多くの賛同を得た。1月には「マイプロジェクトアワード 2019 中四国 Summit」に参加し、最終選考に残るなど高評価をいただくことができた。

活動の成果・効果

成果は2つある。1つは地域に対して提言することで、多くの方に賛同していただいたことだ。2つ目は生徒が社会性、コミュニケーション能力を身に着けることができたことだ。実際にフィールドワークで地域の学校や住民の方のお話を聞くこと、班のメンバーで分かったことをまとめていく作業、発表の仕方などを考えていくプロセスの中で、多くの生徒が初めてのことに果敢に挑戦することができ、成長を実感することができた。年度末のアンケートでも「防災意識が高まった」「コミュニケーション能力が



いた」などの項目で肯定的意見が80%以上となった。さらに作成したプレゼン資料は倉敷西公民館に掲示し、引き続き地域の方に読んでいただけている。加えて、1年間で学んだことに関するチラシをA3判プリントにまとめ、近隣住民や学校関係者にも配布している。

今後の課題と問題点

課題は2つあった。1つ目は地域への提言にとどまり、実際に変化を期待できる活動まで至らなかったことだ。請願することも視野に入れていたが、2月議会に間に合わず、請願まで至らなかった。生徒の中にも残念に思うものが多かった。2つ目は全生徒が発表する場を作ることができなかったことだ。資料作成はG-Suiteを利用して各班の生徒が同時編集で行うことができたがその反面、情報量が多く、発表に時間がかかってしまい、一人ずつ発表できる場所を与えることができなかった。原稿等は全員で考えていたが、実際に前に立って発表した生徒と比較すると「コミュニケーション」に関するアンケートで肯定的意見の割合が低くなってしまったのが残念である。

これらの課題を踏まえ、2020年度も1年生の「社会科学入門」にて防災に関する探究学習を継続している。カリキュラムを変更し、多くの時間を防災学習に割くことができるようにしている。1学期には知識の獲得と定着を目的とし、フィールドワークを行い、2学期から各グループで課題を設定し、問題解決のために調査、探究するという具合だ。時間的な余裕が生まれているので、外部の方（地域や近隣の小中学校など）と協働的な活動を行うことも想定しており、地域を巻き込んだ活動にしていきたい。また、12月には校内研究発表大会を開催し発表の機会を作り、それに向け段階的な指導を行うことができるよう計画している。

- 代表者：土肥直樹 ●所在地：倉敷市八王寺町
- TEL：086-422-0387 ●E-MAIL：ts1m73@kurashiki-oky.ed.jp
- URL：http://www.kurashiki-oky.ed.jp/seishi-h/
- 設立年：2019年 ●メンバー数：6名